

平成 16 年第 4 回定例会議決結果



つよい日本をつくる。

議案	付託委員会	本会議の議決	市政11	新政1	市フ7	市ク1	公明5	生ネ2	共産3
----	-------	--------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

条例・予算										
府中市組織条例の一部を改正する条例	総務	可決							×	
府中市手数料条例の一部を改正する条例	総務	可決								
府中市都市計画税条例の一部を改正する条例	総務	可決								
府中市子ども家庭支援センター条例	厚生	可決								
府中市都市型産業専用地区内における建築物の建築の制限に関する条例	建設環境	可決								
物品の質入れについて	文教経済	可決								
府中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決								
府中市職員旅費支給条例の一部を改正する条例		可決								
府中市職員退職手当条例の一部を改正する条例	総務	可決								

フリーダムネット

No.12 2004.12

陳情・請願										
(株)山田建設による新築マンション工事計画「ミオカステーロ府中」、「(仮称)ミオカステーロ府中八幡町」に関する請願	建設環境	継続								
「ごみを増やすレジ袋の無料配布を止めることを求める意見書」の提出を求める陳情	建設環境	採択								
府中市学童保育運営基準についての陳情	厚生	不採択	×	×	*1	×	×			
小柳町三丁目「武蔵野台ダイヤモンドマンション」建築計画の見直しを求める陳情	建設環境	継続								
外国語大学跡地利用についての陳情	建設環境	継続							×	

*1 = 稲津・小山・村井 × = 杉村・池田・村崎・手塚
「新政」= 新国会 「市ク」= 市民クラブ

開かれた学校づくりを

評価、情報公開、参画。

ご意見ご声援をよろしくお願いします！

TEL 042-335-0097 / FAX 042-361-9856

Email sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL <http://www.fuchu21.gn.to/>

郵便振替 00150-1-102251

銀行口座 府中支店 貯 4572242



府中市議会議員・民主党

杉村康之 / プロフィール

昭和 44 (1969) 年 2 月 19 日生 (35 才)

日鋼町に育ち、現在栄町在住。府中一小、府中四中、国立高校、青学大卒。その後 日本新党の活動に参加、衆議院議員 山田ひろし (現杉並区長) の公設秘書を経て、平成 11 年府中市議選に無所属で初挑戦。平成 15 年府中市議選に自由党で初当選。現在、民主党に所属。

<暮らしはこう変わる>

「子育て支援本部」が正式な部に昇格し、「子ども家庭部」に「子ども家庭支援センター」(仮称)が府中駅南口に来春オープン住民票の交付や講座などの申込みがインターネットで可能に市内の小中学校 33 校や教育委員会の教育情報がネットワーク化是政に建設中のマンション内に、認可保育園が開設予定学童クラブの運営を改善し、保護者や地域の声を反映するしくみに 2 月に方針が出された市立保育所 2 園の一部民営化は見直しに市職員の給与見直し。年功序列から職務給に。

「開かれた学校づくり」を

平成 16 年 12 月 7 日本会議より

杉村 市内のモデル校 3 校で研究されている学校評価システムは、第三者評価機関が入るなど、その効果に非常に期待しているが、ただ評価基準の策定段階で保護者や地域が関わるしくみになっていない。保護者や地域の声を反映させるしくみが必要ではないか？

学校教育部長 保護者や地域の声は、学校評価システムの中で主に関係者評価*1として反映する。また今後、学校運営連絡協議会*2の中で、地域や保護者の声を生かしながら評価項目を検討し、学校経営計画の達成状況等を評価していく。

杉村 学校施設の開放や運動会・学芸会などの行事報告については学校の情報公開も進んできているが、肝心の授業の内容についてはグレーボックスだ。もっとオープンにされるべきではないか？ 学習用のプリントなど市民から要望があればいつでも見せられる状態にあることが望ましい。

学校教育部長 授業において活用される学習用プリント類の提示などについては、市民の要望等に応えていく方向で学校を指導していく。

杉村 学校運営に保護者や地域が参画するコミュニティスクールは、学校運営の活性化につながる。コミュニティスクールも視野に入れながら、地域の人たちも交えて「開かれた学校づくり」について話し合う場を設定できないか。

学校教育部長 これからの学校教育は、教育活動を広く公開し、保護者や地域社会と連携した教育活動を推進していくことが大切。保護者や地域の方々とは「開かれた学校づくり」について意見交換できるような協議会等の場の設定を検討していく。

杉村 コミュニティスクールとは、学校の経営を学校に任せてみるという発想である。ただし、勝手に何でもやっつけていいということではなく、自立性や大幅な自由度を認めるかわりにアカウントビリティ（説明責任）を担保し、住民が見守りながら一緒に育てる学校である。このような観点から、ぜひ「開かれた学校づくり」に取り組んでいただきたい。（.....が今回の質問の成果です）

*1・2 学校評価システムでは、教職員による内部評価と保護者・地域による関係者評価と、第三者評価とがある。この関係者評価にあたるのが学校運営連絡協議会で、この協議会は、校長が地域や PTA の OB に委嘱し、校長の求めに応じて意見を述べる。

もっとオープンに、もっと地域の声を

選挙で私は、「学校と親と地域の連携で責任ある教育を！」と訴えました。学校が親や地域と連携するには、まず「開かれた学校づくり」が必要で、そのポイントは、評価・情報公開・参画の 3 つであると思います。

これまでの学校評価は、主に職務内容や行事について、教職員自らが行ってききましたが、いま府中で研究中の新しいシステムでは、校長が作成した学校経営計画や評価項目を基準に、第三者が評価するという画期的なものです。評価項目策定の段階で保護者や地域の声が反映されるとよりよいものになるでしょう。

学校の情報公開については、行事や道德活動などが積極的に公開されていますが、通常の授業がグレーボックスです。教員が教室でどんな工夫をして授業をしているのか、子供を預ける市民は知りたいと思うでしょう。授業の見学はできるようになってきていますが、副教材や学習プリントなどを市民がいつでも気軽に見られることが望ましいでしょう。

学校運営に保護者や地域が参画する「地域ぐるみの学校」が、いま全国的に研究され始めています。従来和学校とは違った新たな発想が生まれ、いろいろなタイプの学校があることで全体も活性化されるでしょう。イギリスの教育改革はこれで大成功しました。

イギリスの場合は、校長、教職員、保護者、地域の人などからなる「学校理事会」が予算の運用権や教員の任免権まで持っています。日本の今の法律ではそこまでできなくとも、保護者や地域がもっと運営に関わることは可能です。

私もときどき市内の学校を見学して周っていますが、先生方は日々一生懸命取り組んでおられると思います。しかし、学校は閉鎖的で社会の常識が通じないという一般の指摘も間違いとはいえないでしょう。そのために、最近では教育行政による管理が細かくなっている側面もあるようです。

私は、基本的には、教育に細かな管理はなじまないと考えるので、学校の自立性を高め、創意工夫の余地を広げていくべきだと思いますが、そのかわりに、もっと学校の情報がオープンにされ、保護者や地域の声をもっと反映される必要があると思います。

